

流域に着目して未来を考える ～地域社会の危機への総合的なアプローチ～

現在、気候変動による水害の頻発化、台風、熱波、地震にコロナ禍など、複合災害が多発している。また、わが国では、生産人口減、少子高齢化、人口減少などが進み、地域はさまざまな持続性の危機に面している。この難局を乗り越えるため、各地域で多様な努力がなされているが、自治体単位での取り組み、縦割りの取組み共に限界が感じられる。本シンポジウムでは、河川流域という地域単位に着目した取り組みの可能性を探ることを目的とし、九州筑後川流域で活動する方々と共に、地域の取組み根差した議論を行い、未来を展望する。



筑後川流域ショートフィルム
「NOISE OF FLOW」
監督：梶原涼晴
主演：植野堀 誠・初音
一部先行上映予定

2021年 8.06 日

時間 13:30 ▶ 16:30

場所 オンライン (Zoom)
* 参加費無料

お申し込み

https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_WygXaSWPRgW7TdsJ-dtxVw



登壇者 (詳細プロフィールは裏面)

Nobutaka
Miyahara



宮原 信孝
(みやはら のぶたか)
講演・パネルディスカッション

Tadashi
Datai



駄田井 正
(だたい ただし)
講演・パネルディスカッション

Hideo
Nishimoto



西本 英雄
(にしもと ひでお)
講演・パネルディスカッション

Takaaki
Kato



加藤 孝明
(かとう たかあき)
趣旨説明・講演・パネルディスカッション

Naofumi
Nakamura



中村 尚史
(なかむら なおふみ)
司会・パネルディスカッション

Hiroki
Nakamura



中村 寛樹
(なかむら ひろき)
趣旨説明・パネルディスカッション

主 催：東京大学社会科学研究所「社会連携研究部門」「危機対応学『地域貢献見える化』事業」
共 催：東京大学生産技術研究所



お問い合わせ (kiki_admin@iss.u-tokyo.ac.jp)

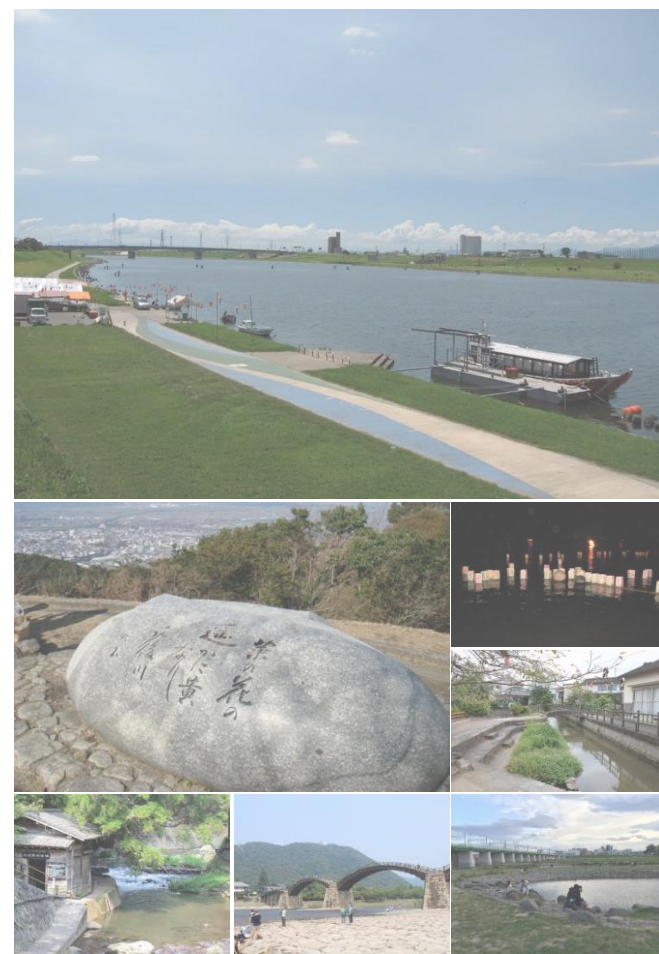
Program プログラム

(司会：中村尚史)

- 開会挨拶
- 趣旨説明 (加藤孝明・中村寛樹)
- 講演
 1. 開発・復興支援の経験と現在の地域での取り組み (宮原信孝)
 2. 「筑後川プロジェクト」の取り組み (駄田井正・西本英雄)
 3. 流域治水＋防災【も】まちづくり (加藤孝明)

休憩：筑後川流域ショートフィルム「NOISE OF FLOW」
(監督：梶原涼晴、主演：植野堀 誠・初音) 一部先行上映

- パネルディスカッション (コーディネーター：中村尚史)
(宮原信孝・駄田井正・西本英雄・加藤孝明・中村寛樹)
- 閉会挨拶



Profile 登壇者プロフィール



宮原 信孝 (みやはら のぶたか) 一般財団法人 筑後川コミュニティ財団 理事長

元外務省職員。中東和平・パレスチナ支援 (中近東第1課補佐・首席)、ベトナム開発支援 (在ベトナム大経済参事官)、アフガニスタン復興支援 (中東第2課長/在アフガニスタン大次席) を担当し、国づくり、地域づくり、まちづくりを企画実践。2005年帰郷後、久留米大等で、北部九州地域の社会経済強化を模索。2019年 (一財) 筑後川コミュニティ財団を設立。遺贈・休眠預金等を活用し、社会課題解決を試みる団体を支援。東京大学 (人文地理) 卒。ロンドン大学修士 (地域研究)。



駄田井 正 (だたい ただし) 一般社団法人 筑後川プロジェクト協会 代表理事
久留米大学 名誉教授／筑後川まるとりバーパーク考案者

1944年生まれ、大阪府堺市出身。1970年に久留米大学に赴任、2014年に退職。経済学博士。専門は文化経済学。1999年に筑後川流域連携倶楽部を立ち上げ、筑後川・矢部川流域を一体的にとらえて、持続可能で質の高い生活の実現を目指してきている。著書に、『文化の時代の経済学入門』(共著) (2011)、『筑後川まるとり博物館』(共著) (2019) など。目下の活動は、筑後川・矢部川流域のもつ自然・文化・歴史・社会的価値を経済的価値に転換することに集中している。



西本 英雄 (にしもと ひでお) 筑後川ビジネス株式会社／福報メディアエージェンシー 代表取締役

1969年生まれ。東京にて広告・メディア業界に約20年間身を置き、各種制作プロデュース・会社経営に携わった後、2013年に所縁のある九州移住を決意。地域振興専門会社を設立し、近年大小20以上の文化/スポーツ/公演プロデュース、地方創生実証事業の他、専門メディアの企画開発に携わる。現在は、経産省JAPANブランド育成支援事業を機に、駄田井名誉教授有志チームと共に、筑後川流域の経済観光振興プロジェクトを手掛けている。



加藤 孝明 (かとう たかあき) 東京大学生産技術研究所 教授／同社会科学研究所 特任教授

博士 (工学)。専門分野は、都市計画、まちづくり、地域安全システム学。地域の防災性評価技術の開発をはじめとする工学研究を行う一方で、地震防災、また気候変動への適応として水害リスクに対応する地域づくりを実践する。全国各地で地域づくりの先駆的なモデルの構築を試みている。地域安全学会論文賞、都市計画家協会楠本賞、地区防災計画学会論文賞他。



中村 尚史 (なかむら なおふみ) 東京大学 社会科学研究所 教授

九州大学大学院文学研究科歴史学専攻博士課程単位取得退学、博士 (文学、九州大学)。東京大学社会科学研究所助手、埼玉大学経済学部助教授、東京大学社会科学研究所助教授、准教授を経て現職。専門は日本経済史・経営史。とくに鉄道史や地域経済史を研究している。主な著書は『日本鉄道業の形成』(1998年)、『地方からの産業革命』(2010年)、『海をわたる機関車』(2016年)、『地域の危機・釜石の対応』(2020年、玄田有史と共編) ほか。



中村 寛樹 (なかむら ひろき) 東京大学 社会科学研究所 准教授

久留米大学附設中学・高等学校卒業。東京工業大学・同大学院国際開発工学専攻博士課程修了。博士 (工学)。九州大学特任助教、中央大学商学部准教授などを経て、現職。専門は社会システム学、まちづくり、ソーシャルビジネス。近著に『はじめてのアントレプレナーシップ論』(単著)・『持続可能なまちづくり - データでみる豊かさ』(共著) 中央経済社 (2019)、『新国富論 - 新たな経済指標で地方創生』(共著) 岩波ブックレット (2016) 等。